

寄附金の内訳と使い道

26年度は市内外から約1,680万円の寄附をいただき、指定先に合わせた事業の財源として活用しました。

いただいた寄附金の内訳			寄附金の使い道	
用途の指定先	件数	金額	事業名	金額
“国宝卯花壇のふるさと調査”応援	4件	1,250,000円	美濃桃山陶の聖地調査・保存・PR事業	1,250,000円
“文化創造センターala(アール)”応援	7件	350,000円	文化芸術振興事業	350,000円
“ふるさとへの支え愛(Kマネー事業)”応援	8件	440,000円	社会貢献システムモデル事業	440,000円
“ふるさとへの自然・環境”応援	15件	597,663円	環境保全事業	457,663円
“ふるさとへの福祉”応援	43件	2,442,323円	観光施設管理経費	120,000円
“ふるさとへの子育て・教育”応援	23件	1,753,710円	農業振興一般経費	20,000円
“ふるさとへの元気”応援	4件	920,000円	地域福祉推進事業	1,480,323円
“ふるさとへの安全・安心”応援	5件	700,000円	老人福祉センター運営経費	532,000円
“サッカー場整備”応援	7件	740,000円	保健衛生一般経費	430,000円
“可児市まるごと”応援	116件	7,595,931円	キッズクラブ運営事業	858,710円
合 計	232件	16,789,627円	可児市学校教育力向上事業	805,000円
			家庭教育推進事業	50,000円
			図書館蔵書整備事業	20,000円
			体育施設管理経費	20,000円
			観光施設管理経費	920,000円
			橋りょう長寿命化事業	500,000円
			防災行政無線整備事業	100,000円
			男女共同参画社会推進事業	100,000円
			公共施設整備基金に積立て	740,000円
			市政全般に活用	7,595,931円
			合 計	16,789,627円

ふるさとの特産品をお届けします

市の特産品であるサトイモや、サトイモを使ったユニークな商品のほか、地産地消ブランド「可児そだち」に認定された農産物や農産加工品、道の駅「可児ッテ」のオリジナル商品などさまざまな特産品から選ぶことができます。全商品のラインアップ、詳細は市ホームページから確認できます。

以下の商品もお礼の品に加わりました！

可児市

Kマネー
(地域通貨)



Kマネーは市内の協力店で利用できる地域通貨です。

肉のひぐち

飛騨牛セット



飛騨牛の柔らかく濃厚なお肉や、そのお肉をたっぷり使ったコロケ・ミンチカツのセットです。

御食事処 正盛

マヨ唐チキンの詰合せ



下味付けに本醸造しょうゆとマヨネーズを使用し、糀(こうじ)で熟成させた独創的な味付けが人気の唐揚げです。

富士カントリー可児クラブ

利用券



可児ゴルフ場・美濃ゴルフ場でのゴルフプレー代のほか、各施設内のレストランや売店で利用できます。

SIRROMET(シロメィワイン)

可児市オリジナルラベルワイン



可児市の交流都市レッドランド市(オーストラリア)のシロメィワイナリーで作られた、大自然のおいしさが凝縮されたワインです。

天然温泉三峰

利用券



天然温泉入浴招待券と館内のお食事処、マッサージ、売店などの利用券のセットです。砂場風呂にも利用できます。



可児市ふるさと応援寄附金

最近「ふるさと納税」という言葉をよく見たり聞いたりします。「好きな自治体に寄附ができる」「寄附すると税金の控除が受けられる」「寄附のお礼として豪華な特産品などがもらえる」などなど。でも、実際のところはどうなのでしょう。ここでは、知っているようで意外と知られていない「ふるさと納税」について、可児市版ふるさと納税制度「可児市ふるさと応援寄附金」の内容を交えて紹介します。

ふるさと納税とは

自分の生まれ故郷やお世話になった地域の力になりたい、という思いを形にできるよう設けられた制度です。「納税」という言葉を使っていますが、実際には自治体に寄附をするものです。この制度では、応援したい自治体をどこでも選んで寄附することができます。また、寄附という行為を通じて、納税者の自治体行政に対する参加意識を高め、地域の活性化にもつながることが期待されています。

ふるさと納税はお得な制度？

ふるさと納税で寄附したお金は、2000円を超える部分について住民税と所得税から控除を受けることができます。つまり、2000円の自己負担を除いて、全額が戻ってくるのです(ただし、一定の上限があります)。また、寄附に対する返礼品として、記念品や地元の特産品などを贈る自治体も増えています。中には大変高額な品物を贈っている自治体もあり、この制度についてさまざまな意見があることも確かです。

ふるさと納税の趣意を語る

ふるさと納税制度は、地域の活性化

可児市を応援してください

市では、「可児市ふるさと応援寄附金」と称して、ふるさと納税を募っています。寄附金の使途は、「国宝卯花壇のふるさと調査応援」、「文化創造センター・アール応援」など10のメニューから選んでいただけます。また、返礼品は市内の生産者などから提供いただくことで、地域経済の活性化も目指しています。

可児市民が可児市に寄附することでももちろん可能です。その場合、市にとっては通常の納税をしていただく以上の収入増となります。

「住みごころ一番・可児」の実現に向け、ぜひ応援をお願いします。

問合せ 財政課

などさまざまな効果が期待できます。税金の控除が受けられたり、各自治体が競って返礼品の充実を図ったりしているのも、そうした効果を期待していることです。

また、寄附したお金のうち戻ってくる部分については、寄附を行った人の居住している自治体が、住民税の控除という形で負担することになります。例えば、可児市民が他の自治体に寄附すれば、それだけ可児市の収入が減少することを意味します。